

# 国家資格キャリアコンサルタント試験 第15回以降の学科試験

## 新出題範囲と傾向解説！

キャリア魂塾  
career-soul



第15回試験以降は、第14回以前の試験と比較すると  
難化傾向と考えられます。

しかし、ただ「難化」と受験生の不安を煽るのではなく  
その根拠を解説します。



## 第14回国家資格キャリアコンサルタント試験まで適用された キャリアコンサルタント試験の出題範囲（旧）

次に掲げるキャリア発達理論、職業指導理論、職業選択理論等のキャリア開発に関する代表的理論の概要について、キャリアコンサルタントとして必要な程度の知識を有すること。

- 1) パーソナリティ・特性因子論アプローチ
- 2) 発達論・トランジションに関するアプローチ
- 3) 社会的学習理論アプローチ
- 4) 意思決定論アプローチ
- 5) 精神分析的理論
- 6) 動機づけ(職務満足・職業適応)理論 等

（出典：キャリアコンサルタント試験の出題範囲（旧））

令和2年4月1日（第15回試験）以降、新「試験出題範囲」が適用される



## キャリアコンサルタント試験の試験科目及びその範囲並びにその細目（新）

キャリア発達理論、職業指導理論、職業選択理論等のキャリア開発に関する代表的理論の概要（基礎知識）について**詳細な知識**を有すること。

- ・ パーソナリティ・特性因子論アプローチ
- ・ 発達論・トランジションに関するアプローチ
- ・ 社会的学習理論アプローチ
- ・ 意思決定論アプローチ
- ・ 精神分析的理論
- ・ 動機づけ（職務満足・職業適応）理論 等

（出典：キャリアコンサルタント試験の試験科目及びその範囲並びにその細目）

**詳細な知識**を有すること。

# 「詳細な知識」とは？

## キャリアコンサルタント試験の試験科目及びその範囲並びにその細目（新） 新しく記載された「定義」

学科試験における必要なレベル（「詳細な」「一般的な」「概略の」）の定義について

詳細：確実に、かつ、深く知っていなければならない知識の程度

一般的：知っていないと実務に支障が生じる知識の程度

概略：浅く広く常識として知っておかなければならない知識の程度

「必要な程度」（旧）から「詳細な知識」へ変更されている。  
→こういった「記載の変更」がある項目については、難化が予想されます。

今回、「詳細な知識」に改定された項目をピックアップします。

学習の参考になれば幸いです。

出典：キャリアコンサルタント試験の試験科目及びその範囲並びにその細目（新）



キャリア発達理論、職業指導理論、職業選択理論等のキャリア開発に関する代表的理論の概要（基礎知識）について詳細な知識を有すること。

- ・ パーソナリティ・特性因子論アプローチ
- ・ 発達論・トランジションに関するアプローチ
- ・ 社会的学習理論アプローチ
- ・ 意思決定論アプローチ
- ・ 精神分析的理論
- ・ 動機づけ（職務満足・職業適応）理論 等

社会及び経済の動向並びにキャリア形成支援の必要性が増していることに関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。

- ① 技術革新の急速な進展等様々な社会・経済的な変化に伴い、個人が主体的に自らの希望や適性・能力に応じて、生涯を通じたキャリア形成を行うことの重要性と、そのための支援の必要性が増してきたこと。
- ② 個々人のキャリアの多様化や社会的ニーズ、また労働政策上の要請等を背景に、キャリアコンサルタントの活動が期待される領域が多様化していること。



キャリアコンサルティングの役割と意義に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。

- ① キャリアコンサルティングは、職業を中心にしながらも個人の生き甲斐、働き甲斐まで含めたキャリア形成を支援するものであること。
- ② 個人が自らキャリアマネジメントをすることにより自立・自律できるように支援するものであること。
- ③ キャリアコンサルティングは、個人と組織との共生の関係をつくる上で重要なものであること。
- ④ キャリアコンサルティングは、個人に対する相談支援だけでなく、キャリア形成やキャリアコンサルティングに関する教育・普及活動、組織（企業）・環境への働きかけ等も含むものであること。

- 1) キャリアコンサルティングの全体の過程において、カウンセリングの理論及びスキルが果たす役割について詳細な知識を有すること。

#### 4 自己研鑽及びキャリアコンサルティングに関する指導を受ける必要性の認識

##### (1) 自己研鑽

次に掲げる事項を適切に認識する、または実施するために、自己研鑽について詳細な知識を有すること。

- ① キャリアコンサルタント自身が自己理解を深めることと能力の限界を認識することの重要性を認識するとともに、常に学ぶ姿勢を維持して、様々な自己啓発の機会等を捉えた継続学習により、新たな情報を吸収するとともに、自身の力量を向上させていくこと。
- ② 特に、キャリアコンサルティングの対象となるのは常に人間であることから、人間理解の重要性を認識すること。

##### (2) スーパービジョン

次に掲げる事項を適切に認識する、または実施するために、スーパービジョンの意義、目的、方法等について詳細な知識を有すること。

- ① スーパーバイザーから定期的に実践的助言・指導（スーパービジョン）を受けることの必要性。
- ② スーパービジョンを受けるために必要な逐語録等の相談記録を整理すること。

## 5 キャリアコンサルタントとしての倫理と姿勢

### (1) 活動範囲・限界の理解

次に掲げる事項を適切に認識する、または実施するために、活動範囲・限界の理解について詳細な知識を有すること。

- ① キャリアコンサルタントとしての活動の範囲には限界があることと、その限界には任務上の範囲の限界のほかに、キャリアコンサルタント自身の力量の限界、実践フィールドによる限界があること。
- ② 活動の範囲内において、誠実かつ適切な配慮を持って職務を遂行しなければならないこと。
- ③ 活動範囲を超えてキャリアコンサルティングが行われた場合には、効果がないだけでなく個人にとって有害となる場合があること。

### (2) 守秘義務の遵守

守秘義務の遵守を実践するために、相談者のプライバシーや相談内容は相談者の許可なしに決して口外してはならず、守秘義務の遵守はキャリアコンサルタントと相談者の信頼関係の構築及び個人情報保護法令に鑑みて最重要のものであることについて詳細な知識を有すること。

### (3) 倫理規定の厳守

倫理規定の厳守を実践するために、キャリア形成支援の専門家としての高い倫理観を有し、キャリアコンサルタントが守るべき倫理規定（基本理念、任務範囲、守秘義務の遵守等）について詳細な知識を有すること。

### (4) キャリアコンサルタントとしての姿勢

次に掲げる事項を適切に認識する、または実施するために、キャリアコンサルタントとしての姿勢について詳細な知識を有すること。

- ① キャリアコンサルティングは個人の人生に関わる重要な役割、責任を担うものであることを自覚し、キャリア形成支援者としての自身のあるべき姿を明確にすること。
- ② キャリア形成支援者として、自己理解を深め、自らのキャリア形成に必要な能力開発を行うことの必要性について、主体的に理解すること。

キャリア魂塾では、学科・論述・面接ロールプレイの各試験において新試験に対応したリニューアルを行います。

学科不合格、論述30点・面接ロールプレイ55点未達時は全額返金保証！  
あなたの結果に責任を持つキャリア魂塾の新試験対応講義にご期待下さい。



<https://career19.link>

